

浄土宗
攝取山
念佛寺 報

攝取

第 16 号

始まり、春の心躍る気持ちも、膨らんだりしぼんだり。雪の中からも草や花が春の準備をしています。

お彼岸

今年のお彼岸は、寺の裏の墓地にはまだまだ雪が残っている状態です。

二月の終わりから先日まで、暖かい日があったかと思えば、また雪



となり、吹雪にもなったり、一年の

言葉

ただし三心四修と申すこと

の候は、皆決定して

南無阿弥陀仏にて往生す

るぞと思ふうちにも

候なり

三心とは、至誠心、深心、回向発願心の三つをいいます。至誠心とは、念仏を偽りのない誠の心で唱えること。深心とは、己の限界を自覚し阿弥陀仏の慈悲を仰いで極楽浄土に往生できることを

深く信じること。回向発願心とは、これまでの善根功德のすべてを振り向けて往生したいと願う心。たとえ三つについて知らなくても、心から本願を頼みにして念仏を唱えていけば、自然に三心を供えた念仏になります。

四修は、恭敬修(弥陀三尊、浄土三部経、仏法を説く者を敬うこと)、無余修(余行を混えずに念仏を唱え阿弥陀仏を礼拝すること)、無間修(間を置かず念仏を唱え往生を願うこと)、長時修(生涯を通して念仏を唱えること)。

南無阿弥陀仏と唱えていけば、必ず往生できると固く信じ、念仏を「この世にある限り相續していければ、三心も四修も具足される。」

Q&A

Q 塔婆とお墓とは

お墓の後ろに立てるのがお塔



婆です。お釈迦様を供養するために立てたストウパーを漢字で卒塔婆と書きますが、略して塔婆と書きます。

お墓については、よく墓相をいう人がいますが、墓相学は中国の易学や陰陽道、日本古来からの俗信や迷信が交じり合ってきたものです。ですから墓石の種類や方角などを気にすることはまったくありません。大切なのは正しい信仰と、お墓に安住している先祖を思いやる気持ちです。

《編集後記》

今回は、春を感じさせてくれる福寿草と春蘭を載せてみました。

今年はいつまでも雪が降り、わが家の福寿草ももうすぐ上の写真のよう

に咲きそうです。皆さんのおうちではもう咲いていますかもしねませんね。